

放課後等デイサービス自己評価表 集計および施設内会議結果					施設名： アプリ児童デイサービス川崎諏訪2号館	
自己評価実施職員数： 11人					検討会議実施日： 令和 4 年 1 月 20 日	
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善を要する点の有無 施設内会議での意見	
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11			目的別でフロアを分けて使っている事の継続 導線を明確に知ることによりスムーズに行動できるようにしている
	②	職員の配置数は適切であるか	10	1		児童15名に対しスタッフ7名は適切である 個別対応、集団療育のっておりその都度スタッフのバランスも考えている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	11			車イスで入れるトイレは有るが、現在は車イスの利用者はいない フロア内はフラットな状態を保つようにしている
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11			毎週のミーティングを活用しているので継続する
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11			毎年行っているアンケートを参考にして総合的に判断して行う
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	2	2	外部からの評価を全てのスタッフに共有する必要があるのか？ 管理者レベルのスタッフが評価結果を踏まえて改善案を出して実行している
適切な 支援の 提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11			外部研修の情報を毎週のミーティングでの共有の継続 啓発研修だけではなく、実務研修も増やしてほしい
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	1		全てのスタッフがアセスメントを取る事ができ児発に伝えられる体制の強化 細かなニーズも汲み取り計画に反映させる
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11			児発の一方的な意見ではなく、チームとして色々な意見を出し合える環境を維持し、より活発な意見 交換の場を作り利用者主体のプログラムの立案、実行
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11			定番のプログラムもあるが年代別で目的が違うためサポートの仕方を変化させる
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11			現状のシステムは好評を頂いているため維持
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	11			個別の目的、集団活動での目的を踏まえてサービス計画は作られているため、クオリティを落とさず により良い方法を探し続ける
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9		2	当日休みだったスタッフにいか伝えているのか 朝礼で前日の出来事は共有
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11			
関係 機関 や保	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	1		個人差、目的別、など細かく行っているで継続
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	10	1		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11			カンファレンスの機会を増やしより利用者について知ってもらいたい アプリが持っている情報を共有したい
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	1		一部の学校を除き学校との情報共有は保護者を通してになっている
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	6	1	医療的ケアが必要な児童は受け入れをしていない
関係 機関 や保	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	1	1	児童発達から放デイへの利用者が多いため出来るだけ機会を増やしたい
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	2	2	私達は望んでいるが、先方が望まない事が多く共有する機会が少ない

護者との連携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9		2	保護者を通じての情報共有が多いため出来れば直接話をする機会を増やす
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	8	保護者のニーズや安全面など総合的に判断し積極的に行う事はしない
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	5	参加はしたいがタイミング等が合わず参加できていない
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11			
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	9	1	1	
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11			
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3		8	保護者からのニーズや個人情報、コロナの状況等を考慮し決める 現在は行っていない
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11			
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	1		ブログや、各種お知らせの配布の継続
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	11			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			保護者との連絡を密にしてアプリでの様子、ご自宅での様子を共有することを続ける
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	2	3	コロナ発生以降は行っていないが終息後は再考する
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	11			
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11			年4回の避難訓練、実施記録の配布の継続
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11			
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	2	1	現在までそのような利用者は在籍していませんが、もし在籍することがあれば、しっかりと話し合いをして対応する
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	5	2	現在までそのような利用者は在籍していませんが、もし在籍することがあれば、しっかりと話し合いをして対応する
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11			

保護者向けアンケートをふまえての改善点・意見など

- ・保護者様とのコミュニケーションを大事に「児童」を主語にプログラムを制作
- ・目的やゴールを明確にして進めて行く
- ・ニーズの変化、本人の困りごとをいかに汲み取れるか
- ・日々子ども達に対しアンテナを高く、広く張り些細な変化にも気付けるようにする